

農業競争力強化農地整備事業
(農地整備事業【中山間地域型】)

土地改良事業計画概要書 (第 1 回変更)

(区 画 整 理)

県 地 所 事	区 在 業 主	名 名 地 体	岩 富 一 岩	関 手	手 沢 市 県
------------------	------------------	------------------	------------------	--------	------------------

土 地 改 良 事 業 計 画 概 要 書

— 目 次 —

第1章	目的	1
第2章	地域の所在及び現況	1
第1節	地域の所在	1
第2節	現況	2
第3節	水利状況	4
第4節	営農状況	4
第5節	地域環境の概況	5
第3章	基本計画	6
第1節	計画の要旨	6
第4章	工事又は管理の要領	7
第1節	工事の施工計画	7
第2節	管理の要領	7
第3節	予定工期	7
第5章	換地計画の要領	7
第1節	換地計画樹立の必要性	7
第2節	換地計画樹立の基本方針	7
第3節	土地改良法第5条第6項に規定する国有地等の編入承認に係る地積	8
第4節	非農用地の換地方法	9
第6章	費用の概算	10
第7章	効用	11
第8章	他の事業との関係	11
第9章	計画概要図	11

第1章 目 的

本地区は、一関市の中心市街地より東へ約15kmに位置する水田地帯であり、東側は一級河川北上川、そのほかの周囲は山間地の未整備地域である。

営農形態は、水稻を基幹作物として畜産・養蚕・花卉や野菜の栽培にも取り組んでいる。

農地状況は、昭和30年代の非補助土地改良事業内ノ目地区、非補助土地改良事業中野地区、昭和40年代の団体営ほ場整備事業中江川地区で整備されているものの、10a～20aと小区画である。また、農道は狭小であることから大型機械導入の妨げとなっている。さらに、水路の多くは用排兼用の土水路であり、安定的な用水確保ができず維持管理に多大な労力を費やしているほか、水路底が浅いため排水不良を来し、作目の多様化が困難な状態である。

これらを解決するため、本事業により高生産性ほ場を整備し、営農や維持管理等の省力化を図ると共に、当地域の担い手へ農地の集積・集約化を加速化し、豊かで競争力ある農業の実現に資するものである。

地 積

(単位：ha)

現況地目 市町村名	水 田	普通畑	樹園地	計	道水路等	その他	合 計
一 関 市	92.4	0.2	—	92.6	11.1	0.2	103.9

第2章 地域の所在及び現況

第1節 地域の所在

岩手県一関市弥栄 地内

第2節 現 況

変更なし

第1項 地形、地質及び土壌

本計画地域は標高12～61mに位置し、地形勾配は西から東に1/76程度の傾斜を成している。

地質は水積による非固結堆積岩で、土壌は灰褐色土壌強粘土構造型（G60）、黄褐色土壌強粘土型（I81）、強グライ土壌強粘土還元型（D30）、灰褐色土壌砂土型（G64）となっている。

第2項 気 象

（1）一般気象

（岩手県農林水産部農村計画課 計画樹立参考資料 平成31年3月版）

観測所名	一関地域気象観測所	かんがい期	非かんがい期	計 又は平均	備 考
観測期間	H20～H29年	5月～8月	9月～4月		
平均気温（℃）		20.8℃	7.3℃	11.8℃	
降水量	平均（mm）	501.1mm	678.0mm	1,179.1mm	
	基準年（mm）	—mm	—mm	—mm	
降水日数	平均（日）	42日	75日	117日	
	基準年（日）	—日	—日	—日	
根雪期間		_月_日～_月_日_日間			
無霜期間		4月28日～10月31日187日間			
最多風向	NNW	最大風速 （風向）	10.7 m/s （ ）	最多風向発生時期	—
				最大風速発生年月日	—

変更なし

(2) 特殊気象

(岩手県農林水産部農村計画課 計画樹立参考資料 平成31年3月版)

観測所名	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			備考
一関地域雨量観測所																
観測期間 T5年～H29年	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	
最大日雨量 T6年～H29年 (mm)	285.0	S22.7.22	1/—	246.0	S23.9.16	1/—	212.0	M42.8.28	1/365	153.0	S61.8.5	1/41	153.0	S43.8.11	1/41	
最大時間雨量 S53年～H29年 (mm)	49.0	H6.8.19	1/60	45.0	S48.6.20	1/32	43.0	H2.10.26	1/24	41.0	H17.8.14	1/17	40.0	H3.8.31	1/15	
最大4時間雨量 S53年～H29年 (mm)	89.0	S41.9.25	1/34	87.0	H14.7.11	1/29	87.0	S43.8.11	1/29	86.0	S33.8.18	1/27	83.0	H25.7.26	1/22	
最大3日連続雨量 T6年～H29年 (mm)	318.0	S22.7.22	1/872	236.0	M43.8.15	1/89	223.0	H14.7.11	1/61	212.0	M42.8.28	1/44	205.0	S33.7.24	1/36	
最大連続旱天日数 T5年～H29年 (日)	41	S21.7.14	1/—	40	S48.6.24	1/—	35	S13.7.26	1/392	32	S2.7.31	1/94	31	S39.7.20	1/62	

変更なし

第3節 水 利 状 況

第1項 用水状況

本地区の用水は、北上川から富沢揚水機で取水する系統、一級河川中江川から内ノ目揚水機と富沢第三揚水機で取水する系統、普通河川中江川から頭首工で取水する系統、蕎麦沢ため池をはじめ地区内の複数のため池から取水する系統、その他溪流から取水する系統となっておりそれぞれの小用水路にかんがいしている。

地区内の小用水路は、維持管理等で一部装工されているが、ほとんどは土水路で断面も一定ではなく、用排兼用となっている。そのため、土壌浸透による損失や崩落による断面阻害も生じており、水管理及び維持管理等に多大な労力と経費を費やしている。

第2項 排水状況

本地区の排水は、地区内の用排水路を經由し、普通河川中江川、普通河川二反田川、一級河川中江川へ排水される。

地区内の小排水路は、土水路で用排兼用となっており、水路底が浅く、表面水のみが排水可能な状況であるため、水田の汎用化が行えない状況となっている。また、法面の崩落等による通水障害も生じており、維持管理に多大な労力と経費を費やしている。

第4節 営農状況 専業別農家数及び平均経営耕作面積

2020農林業センサス

項 目 戸 数			専 業	第一種 兼 業	第二種 兼 業	計	一戸 当 た り 平 均 経 営 耕 地 面 積	田	畑	樹園地	その他	計	地 域 指 定 等
専 兼 業 別	一 関 市	戸 数	- 戸	- 戸	- 戸	- 戸		1.50 ha	0.46 ha	0.05 ha	- ha	2.01 ha	農 振 S48.3 過 疎 H17.9 山 振 S45.12 特農指定 H5.9
		割 合	- %	- %	- %	- %		74.6 %	22.9 %	2.5 %	- %	100 %	
	本 地 区	戸 数	- 戸	- 戸	- 戸	- 戸		- ha	- ha	- ha	- ha	- ha	
		割 合	- %	- %	- %	- %		- %	- %	- %	- %	- %	

変更なし

経営農用地広狭別農家数													2020農林業センサス		
区 分	農 家 総戸数	経 営 農 用 地 広 狭 別 農 家 数											耕地の分散状況		一戸当たり 平均耕地面積
		経営耕 地なし	～ 0.3ha	0.3ha ～ 0.5ha	0.5ha ～ 1.0ha	1.0ha ～ 1.5ha	1.5ha ～ 2.0ha	2.0ha ～ 3.0ha	3.0ha ～ 5.0ha	5.0ha ～ 10.0ha	10.0ha 以上	自給的 農家	一戸当たり 団地数	団地当たり 面 積	
一関市	8,996	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	3,487	－	－ ^a	201 ^a

第 5 節 地域環境の概況

一関市は豊かな水と彩りある美しい緑に包まれており、市の中央を南流する北上川には、磐井川、砂鉄川、千厩川、金流川などが注ぎ込み、多様な水辺環境を形成している。市の西部には栗駒国定公園に指定されている奥羽山系や、東部は室根高原県立自然公園となっている室根山をはじめとする北上高地の丘陵地帯が広がっている。なお、本地域内には、「環境省レッドリスト」及び「いわてレッドデータブック」に登載されている希少種の生育・生息が確認されている。

第3章 基本計画

第1節 計画の要旨

本地区は、昭和30年代から昭和40年代に耕地整備されているものの、区画規模は10a～20aと小区画であるうえ、農道の幅員もほとんどが2m程度と狭小で大型機械の通行が困難であることから、効率的な営農の展開が不可能な状態となっている。また、地区内の小用排水路のほとんどが土水路となっており、維持管理に多大な労力を費やしている。

このため本事業では、88.5haの農用地に対し区画整理を行い標準区画0.3～1haのほ場を整備する。また、暗渠排水58.4haを併せて整備し乾田化を図る。さらに、地区内農道は、総延長9.0kmの支線道路を標準幅員5～4mの敷砂利舗装に、用水路は総延長19.2kmをパイプラインにて整備する。排水路は総延長13.1kmを鉄筋コンクリート二次製品にて整備する。

これらの整備により、営農及び維持管理等の省力化を図ると共に、担い手への農地集積を一体的に推進し農業経営の安定化を図るものである。

環境との調和への配慮として、地区内で生息が確認された保全対象種については、有識者委員の指導・助言を得ながら、工事施工前に地区に隣接した生息環境が類似している箇所を利用し移植・移動する。また、景観を阻害しないように現地形に沿った区画設計とし、農村景観への影響を最小限にする。

事業計画一覧表

種 別		事 業 量	摘 要
区 画 整 理	整 地 工	88.5 ha	表土扱い A=88.5 ha
	道 路 工	8,998 m	砂利道 B=5.0 (4.0) m, B=4.0 (3.0) m, 拡幅+砂利道 B=5.0 (4.0) m
	用水路工	19,160 m	管水路（塩ビ管）75～400m/m, 鉄筋コンクリートベンチフリューム300型
	排水路工	13,055 m	鉄筋コンクリート排水フリューム 300×300～1500×1000
暗渠排水工		58.4 ha	吸水渠H=0.6m φ50～60mm、集水渠 H=0.6m φ50～65mm

第4章 工事又は管理の要領

第1節 工事の施工計画

1. 工事は、全て県営事業による請負工事とする。
2. 施工は、農業土木工事共通仕様書によるほか、特記仕様書による。

第2節 管理の要領

施工後の諸施設の管理は、富沢土地改良区及び一関市が行う。

第3節 予定工期

令和6年～令和15年

第5章 換地計画の要領

第1節 換地計画樹立の必要性

本事業により実施する区画整理がより生産性の高い農業の実現に資するよう、担い手への集積、集約化を見据えた換地計画を樹立する必要がある。

第2節 換地計画樹立の基本方針

第1項 従前地の地積の基準

換地交付の基準とする従前土地の地積は、土地改良事業計画の決定の日の登記簿地積とする。但し、上記の日から2ヶ月以内に測量士等の資格者が測量した実測図に、隣接所有者の承諾書を添付して申出があった場合は、その申出の地積とする。

変更なし

第2項 農用地集団化の方針

区分 換地区	地帯別グループ 別団地の設定	個 人 別 換 地 の 方 法		
		位 置 の 選 択 方 法	一戸当り目標団地数	区画畦畔の取り扱い
富沢	営農グループ別集団化	予め特殊地の選定を行なった後、各人の従前の土地が最も密集した位置を基本とするが、育成すべき担い手の経営農用地を中心として農用地の集約が図れるように配慮する。	1～2団地	固定畦畔

第3項 清算の方法

比例地積清算方式

第3節 土地改良法第5条第6項に規定する国有地等の編入承認に係る地積

(単位：ha)

用 途	公 用 公 共 用 地				一般国有地	合 計
	国有地	県有地	市町村有地	計		
公衆用道路	1.1	0.2	3.5	4.8	－	4.8
用悪水路	3.1	－	3.0	6.1	－	6.1
雑種地		－	－	－	－	－
その他	0.0	－	0.0		－	
計	4.2	0.2	6.5	10.9	－	10.9

第4節 非農用地の換地方法

上段：変更後
下段：変更前
(単位：㎡)

換地区名	区 分	種 類	非農用地区域の位置の概略	面 積 (㎡)	換地の手法	換地取得 予 定 者	そ の 他
富 沢		〃 道路用地	〃 一関市弥栄 地内	〃 3,877	〃 特別減歩見合創設換地	〃 一関市	
		― 河川用地	― 一関市弥栄 地内	― 560	― 特別減歩見合創設換地	― 岩手県	
計				3,877 4,437			

変更なし

第6章 費用の概算

単位：千円

<div>項 目</div> <div>事 業 名</div>	総 事 業 費		負 担 内 訳				備 考
	費 目	金 額	国費（55%）	県費（30%）	地 元 負 担（15%）		
					市町村（10%）	農家（5%）	
農業競争力強化農地整備事業 （農地整備事業【中山間地域型】） （区画整理）	事 業 費	3,869,000	2,127,950	1,160,700	386,900	193,450	
	工 事 雑 費						
	事 務 費						
	計	3,869,000	2,127,950	1,160,700	386,900	193,450	

変更なし

第7章 効 用

項 目 区 分	全 体 (千円)		区画整理 (千円)		備 考
	便 益 額	所 得 額	便 益 額	所 得 額	
農業生産向上効果（作物生産効果）	35,551	△ 9,538	35,551	△ 9,538	
農業経営向上効果（営農経費節減効果）	176,807	181,814	176,807	181,814	
農業経営向上効果（維持管理費節減効果）	△ 5,558	97	△ 5,558	97	
農業の持続的発展に関する効果 （耕作放棄防止効果）	3	-	3	-	
その他効果 （非農用地等創設効果）	439	-	439	-	
その他効果 （国産農産物安定供給効果）	5,986	-	5,986	-	
合 計	213,228	172,373	213,228	172,373	総費用総便益比＝ 1.18

第8章 他の事業との関係

該当なし

区分	事 業 名	事業主体	受益面積	工 期	事業費（百万円）	前年度までの 進 捗 率	事業との関連

第9章 計画概要図

別 添

富沢地区 計画概要図

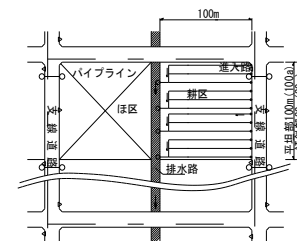
A=88.5ha



県内位置図

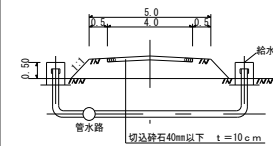


標準区画割図

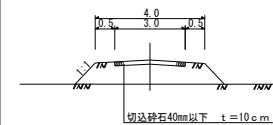


標準構造図

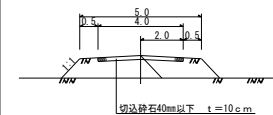
支線道路 A



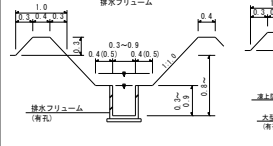
支線道路B



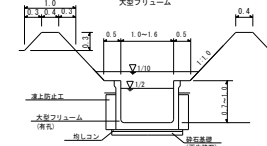
支線道路 C（拡幅）



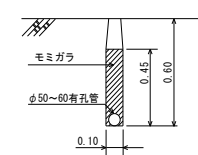
小排水路



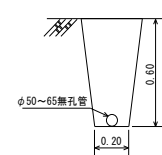
小排水路



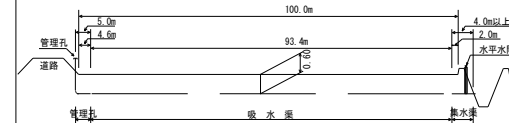
暗渠排水吸水渠



集水渠断面图

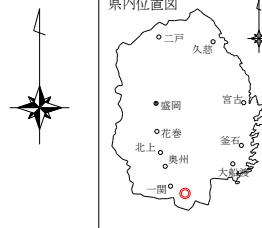


暗渠排水

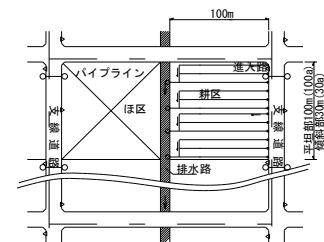


富沢地区 計画概要図

A=88.5ha



標準区画割図



標準構造図

